

四季に染まる町並み

～歩きたくなるまちづくり～



大門・本町通りの現状写真



コンセプト

『四季に染まる町並み
～歩きたくなるまちづくり～』

にぎわいのある町とはなんでしょう？それはきっと、人の存在を強く感じることができ、歩くことで「新たな発見」や「人との出会い」がある町です。私たちは日本の色鮮やかな四季の変化を町並みに取り入れ、季節ごとに様々な表情を見せ、積極的に歩きたくなるような町並みをここに提案します。

町並みのパース



春
近くの公園では春先に出店が並び、本荘の賑わいを見ることが出来ます。本荘の賑わいを見ることが出来ます。本荘の賑わいを見ることが出来ます。

公園の桜が「静」で楽しむものとすれば、私たちの提案する桜は「動」で楽しむ桜となるでしょう。



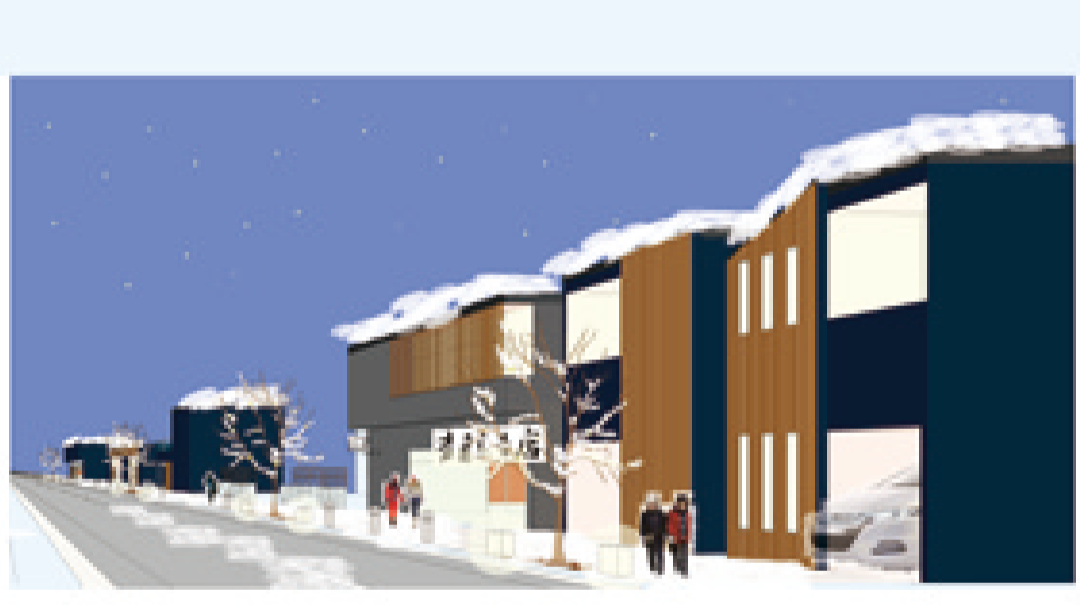
夏
夏には本荘八幡神社による式典が催され、町内の人々が集まる行事が目立ちます。道路の幅が狭いので、より見やすいように、また通りに合わせて、緑が茂り、美しい風景が広がります。

春の淡い桜色の景色はがらりと変わり、力強い緑が通りを包むことでしょう。



秋
桜の木は秋の紅葉も美しいです。春とは違ったおもしろい姿が見られ、秋という季節を楽しむことが出来ます。また、ポケットスペースで落ち葉を利した焼き芋、秋の味覚祭りなどのイベントを開催してはいかがですか？

赤や黄に色づいた町並みに「そろそろかあ...」と、たくさんのイベントに心を踊らせる。秋にも様々な楽しみ方があることに気付くはずですよ。



冬
冬は寒く、しんと雪が降り続きます。それが東北という地に住む魅力でもあります。拡張によって歩きやすくなった通り。春に桜を照らして、雪の積もった枝を、そして降りる雪の1粒々々を照らし、冬の町並みを彩ります。

輝く雪の白さに目を奪われ、ふと気付くと、枝の先に芽吹く淡い色を見つけることでしょう。

看板計画

袖看板

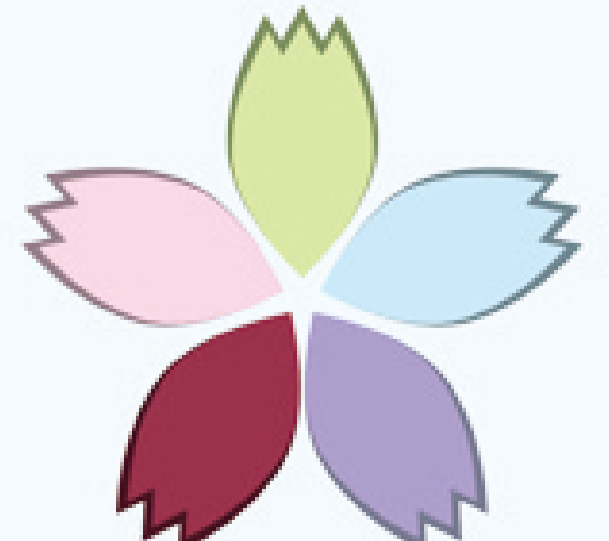
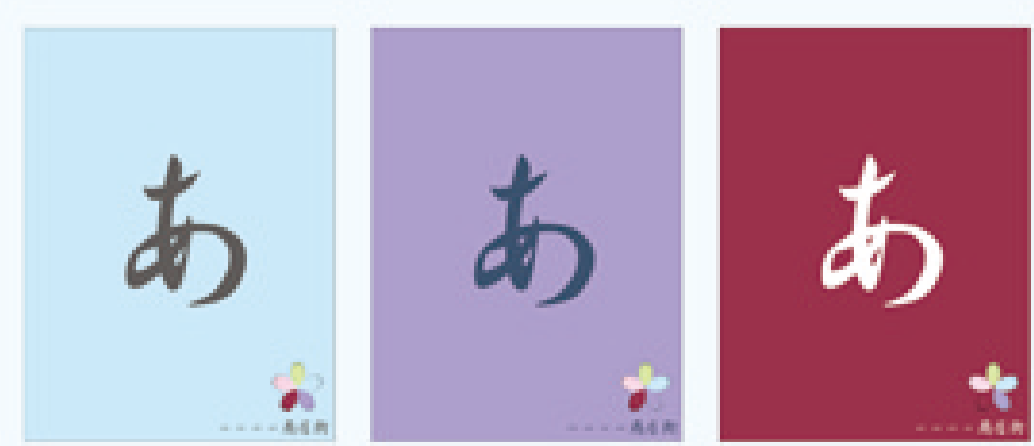


日よけ暖簾 (布看板)



袖看板：全店舗統一のものを1種類
布看板：四季に合わせた4種類を季節ごとに交換
(冬は積雪により配置が困難と考えられるため、のれんにする)

また、袖看板・布看板ともにワンポイントの共通したデザインを入れる。



袖看板、日よけ暖簾共通のシンボル